



プロジェクト名称

「FACE TO FENCE」実現化計画

活動状況報告&活動写真など【活動期間:2012年10月1日~12月31日】

■活動報告

9月25日に日刊工業建設新聞社(左)の取材、11月10日に日刊建設通信新聞社の取材(右)を受けた内容が、下記のようにそれぞれ建設新聞に掲載されました。

取材に関しては、代表の渡辺和弥(大学院2年生)、副代表の渡部真也(学部4年生)、会計の豊田郁美(学部4年)の3人がフェンス班の代表として取材を受けました。



芝浦工業大学の「お絵描き」の前で撮影された写真(左から渡辺さん、豊田さん、渡部さん)



春野小のイベントで集合写真を撮る様子



描いた絵をフェンスに飾る様子

「FACE TO FENCE」実現化計画は、学校と周辺の住宅街を隔てるフェンスに子どもたちの描いた絵を飾り、地域の交流拠点にしようという試みだ。09年から始まった活動は4年が経過。大宮キャンパス(さいたま市見沼区)を舞台とする取り組みは周辺の小学校などにも広がり、さまざまな交流を促して地域の活性化にも一役買っている。プロジェクトの代表を務める渡辺和弥さん(大学院2年生)は、「私の上だけでは学べない貴重な体験ができました」とその意義を語る。(編集部・河本英司)

芝浦工業大学 「FACE TO FENCE」

学生 now

芝浦工業大学の学生が、地域の活性化を目的として、学校と周辺の住宅街を隔てるフェンスに子どもたちの描いた絵を飾り、地域の交流拠点にしようという試みだ。09年から始まった活動は4年が経過。大宮キャンパス(さいたま市見沼区)を舞台とする取り組みは周辺の小学校などにも広がり、さまざまな交流を促して地域の活性化にも一役買っている。プロジェクトの代表を務める渡辺和弥さん(大学院2年生)は、「私の上だけでは学べない貴重な体験ができました」とその意義を語る。(編集部・河本英司)

「FACE TO FENCE」は、学校と周辺の住宅街を隔てるフェンスに子どもたちの描いた絵を飾り、地域の交流拠点にしようという試みだ。09年から始まった活動は4年が経過。大宮キャンパス(さいたま市見沼区)を舞台とする取り組みは周辺の小学校などにも広がり、さまざまな交流を促して地域の活性化にも一役買っている。プロジェクトの代表を務める渡辺和弥さん(大学院2年生)は、「私の上だけでは学べない貴重な体験ができました」とその意義を語る。(編集部・河本英司)

子どもたちの絵でフェンスを交流拠点に

イルミネーションで新たな回遊創出



「FACE TO FENCE」は、学校と周辺の住宅街を隔てるフェンスに子どもたちの描いた絵を飾り、地域の交流拠点にしようという試みだ。09年から始まった活動は4年が経過。大宮キャンパス(さいたま市見沼区)を舞台とする取り組みは周辺の小学校などにも広がり、さまざまな交流を促して地域の活性化にも一役買っている。プロジェクトの代表を務める渡辺和弥さん(大学院2年生)は、「私の上だけでは学べない貴重な体験ができました」とその意義を語る。(編集部・河本英司)

芝浦工大 学生が地域まちづくり実践

「FACE TO FENCE」は、学校と周辺の住宅街を隔てるフェンスに子どもたちの描いた絵を飾り、地域の交流拠点にしようという試みだ。09年から始まった活動は4年が経過。大宮キャンパス(さいたま市見沼区)を舞台とする取り組みは周辺の小学校などにも広がり、さまざまな交流を促して地域の活性化にも一役買っている。プロジェクトの代表を務める渡辺和弥さん(大学院2年生)は、「私の上だけでは学べない貴重な体験ができました」とその意義を語る。(編集部・河本英司)

日刊工業建設新聞社 9月25日

日刊建設通信新聞社 11月10日

活動状況報告 & 活動写真など【活動期間:2012年10月1日～12月31日】

■2012年度の活動

10月

- 03日: 大学・春岡小学校補修作業
- 12日: 大宮資材置き場作業
- 28日: まちづくり交流展in志木 打ち合わせ



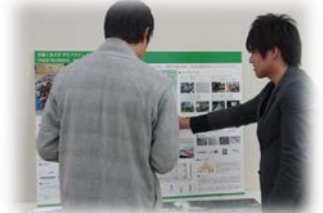
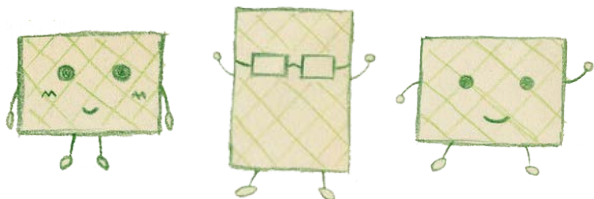
11月

- 02日: 春野小学校メッシュ補修作業
- 08日: 事前準備
- 10日: まちづくり交流展in志木



12月

- 10日: 来年度方針会議
- 13日: 春野小学校補修作業
- 15日: HPの更新作業
- 17日: 春岡小学校、春野小学校 ご挨拶



■活動報告

10月は今まで設置してきた場所に於いて、設置物の維持管理を徹底的に行いました。私たち「FACE TO FENCE」実現化計画はこの維持管理に関しても積極的に力を入れている団体です。11月10日にまちづくり交流展というイベントがあり、私たちの活動を展示する機会を頂きました。この交流展では埼玉県内の住まい・まちづくりに関わる団体が年に一度集まり、日頃の活動成果の発表や交流、研究会が行われます。各NPO団体と建築学会埼玉支所が主催するこの交流展に参加することで、学外にも本プロジェクトを積極的にアピールできました。また、同日に日刊建設通信新聞社の方から取材を受け、メディアに取り上げられる機会を頂きました。

今後の活動計画、目標、意気込みなど

■ 今後の活動計画

まちづくり交流展に於いてご指摘された点を踏まえて以下のようなことを今後考えていきます。

◇ 自立への具体的な計画

→6年間、学生プロジェクトとして活動し、成果を果たすことができました。大学側からの課題でもあるため、協力・協賛していただける企業・団体に声をかけていきます。

◇ 設置されているお絵かきメッシュ

→今年度の設置は継続し、点検等を行います。

・大学に設置されているメッシュ

→継続して点検を行います。点検表を作成し、フェンス班で点検を行います。

・小学校に設置されているメッシュ

→春岡小学校・春野小学校に結束帯をお渡し、大きな破損の対処に困る状況下に連絡を頂きます。



芝浦工業大学内フェンス



春岡小学校フェンス



春野小学校フェンス

■ 目標

今年で大きなイベントを無事終えることができました。今後は私たち「FACE TO FENCE」実現化計画が力を入れている維持管理に関しても引き続き行っていきたいと思います。小学校の方にも補修作業を手伝ってもらうことで、お互いの意思疎通を図りながら子供たちが描いたお絵かきメッシュの維持・管理に努めていきたいと思っています。また、フェンスの活動以外でも大学と小学校でコラボレーション企画を行っていきたいと思います。